

取扱説明書

デュアルドライバーオープンイヤーイヤホン

Ver. 1.0

型番: GRLL-OWS LR112



もくじ

ページ

安全上の注意.....	2
使用上の注意.....	4
各部の名称.....	4
装着方法.....	5
充電のしかた.....	6
使いかた.....	7
Bluetoothについて.....	10
お手入れ.....	10
防水性能について.....	11
故障かなと思ったら.....	12
商品仕様.....	13
リチウム電池のリサイクルについて.....	14
保証書・保証規定.....	15

- この度はデュアルドライバーオープンイヤーイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の15ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



絶対に分解したり、改造しない
火災・感電の原因になります。



火の中に投入したり、加熱しない
破裂による火災・けがの原因になります。



水につけたり、水をかけない
感電・故障の原因になります。



本商品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する
発火・炸裂の原因になります。



本商品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する
失明などの原因になります。



本商品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する
発熱・発火・やけどの原因になります。



運転中は使用しない
自動車、オートバイ、自転車などの運転中はヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない
踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。



異常・故障時は直ちに使用を中止する
液漏・発火・炸裂の原因になります。



雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない
感電の原因になります。



充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する
直ちに使用を中止し、ゼオオリジナル商品サポートセンターにご連絡ください。

安全上の注意 必ず守ること

⚠ 注意



本商品に強い衝撃や圧力を加えない
液漏・発火・炸裂の原因になります。



油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で
使用しない
火災・感電・故障の原因になります。



医療機器の近くで使わない
電波が医療用電気機器に影響を与える
おそれがあります。



心臓ペースメーカーの装着部位から22cm
以上離す
電波の影響で誤動作の原因となるおそれ
があります。



航空機内で使用する場合は、客室乗務員
の指示に従う
電波の影響で誤動作の原因となるおそれ
があります。



大音量で長時間連続使用しない
聴力障害などの原因になることがあり
ます。



使用開始時はボリュームを下げてから
装着する
突然大きな音が出て、耳をいためる原因
になります。



商品仕様の充電時間を過ぎてても充電が
完了しない場合は、充電を中止する
液漏・発火・炸裂の原因になります。



直射日光が強いところ、炎天下の車内での
使用や保管をしない
破損・発熱の原因になります。



本商品を温度の高くなるストーブ・コンロ
などの近くに置かない
液漏・本体の変形の原因、寿命が短くな
ることがあります。



小さなお子様の手の届かないところに
保管する
誤飲など思わぬ事故をまねくことがあり
ます。



USBケーブルを抜くときはケーブルを持
たずに必ずプラグを持って引き抜く
ケーブルを持って抜くと断線や故障の原
因になります。



充電中は、本商品および充電ケーブルの
周りに物を置かない
感電・ショートの原因になります。



充電ケースを他の商品に使用しない、
イヤホン以外のものを入れない
感電・火災・ショート・故障の原因にな
ります。



イヤホンおよび充電ケースにキャッシュ
カードなどの磁気カードを近づけない
本商品に内蔵された磁石の影響により、
カード情報が損なわれる可能性があります。



安全のため、カーチャージャーで充電する
際は本商品の充電ポートに充電ケーブ
ルを接続した状態のまま車のエンジンを
かけないでください。
必ず、エンジンをかけた後に接続してく
ださい。
破損・発熱の原因になります。

使用上の注意

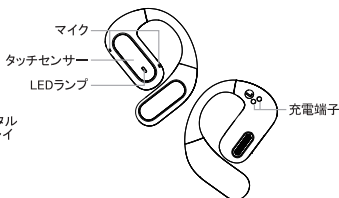
- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 長期間使用しない場合はバッテリーの自己放電による劣化を防ぐため、数ヶ月に一度を目安に充電してください。
- バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は特性であり故障ではありません。また、交換できません。
- 走行中の携帯電話・スマートフォンの使用は法律で禁止されています。万が一電話をかける場合は安全な場所に停止してから操作を行ってください。
- 走行中のご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。

各部の名称

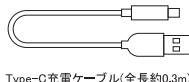
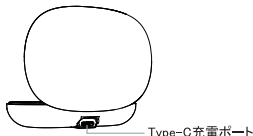
本体



イヤホン本体



付属品



装着方法

イヤホンを取り出す

1. 充電ケースのフタを開きます。
 2. 耳にかけられるように装着し、スピーカー部分が耳穴に向くように調整してください。
- イヤホンはマグネットで充電ケースに固定されています。※取り出す際、無理な力を加えないように注意してください。



イヤホンの装着方法

1. イヤホンの左右(L/R)を確認します。
 2. 耳にかけられるように装着し、スピーカー部分が耳穴に向くように調整してください。
- 装着したあと、頭を軽く振り、イヤホンがしっかりと固定されているか確認してください。
 - 髪の毛やイヤリングなどがタッチセンサーに触れ続けないようにしてください。
- ※装着するときは、タッチセンサーに触れないように注意してください。
- ※装着が不安定だと、耳から外れて脱落や紛失の原因となります。



充電のしかた

初めてお使いになる前に本商品を満充電にしてからご使用ください。

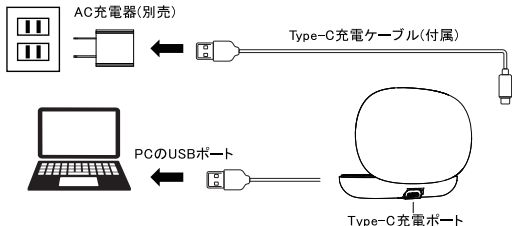
充電ケースの充電

【充電方法】

付属のUSBケーブルを使用し、パソコンのUSBポートまたはUSB AC充電器(別売)に接続して充電してください。

1. 充電中は、デジタルディスプレイの数値が点滅します。
2. デジタルディスプレイの数値が100と表示されたら満充電です。充電ケーブルを取り外してください。

●本商品はPD規格や急速充電対応の充電器でも充電できます。
※急速充電機能には対応していません。通常で充電されます。
※必ず付属の充電ケーブル、または規格に適合したケーブルを使用してください。



イヤホンの充電

1. イヤホンを充電ケースに収納します。
- イヤホンを収納すると、自動的に電源がオフになり、充電が開始されます。
2. 充電中は、LEDランプが白色に点灯します。
3. 充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

【ケースのバッテリー残量がない場合】

充電ケースの電池が切れていると、イヤホンを収納しても自動で電源がオフになりません。その場合は、先に充電ケースを充電するか、手動でイヤホンの電源を切ってください。

【バッテリー残量が少なくなったとき】

ご使用中にバッテリー残量が低下すると、音声案内が流れます。速やかに充電してください。
※充電端子が汚れていると充電できない場合があります。

汚れがある場合は、柔らかい布や綿棒などで取り除いてください。詳細は「お手入れ」の項目をご覧ください。

使いかた

電源を入れる

方法1(自動): イヤホンを充電ケースから取り出すと、自動的に電源が入ります。

方法2(手動): イヤホンが充電ケースの外にあるときは、L(左)R(右)のタッチセンサーを約3秒長押しします。

●左右別々に電源が入るため、両方のイヤホンで操作を行ってください。

電源を切る

方法1(自動): イヤホンを充電ケースに収納してフタを閉めると、自動的に電源が切れます。

方法2(手動): イヤホンが充電ケースの外にあるときは、どちらかのタッチセンサーを約5秒長押しします。

●手動で切る際、途中で他の機能が作動する場合がありますが、電源が切れるまでそのまま操作を続けてください。

※充電ケースのバッテリー残量がない場合は、ケースに収納しても自動で電源は切れません。

※ご使用中でもこの機能が働く場合があります。操作には十分ご注意ください。

Bluetooth接続(ペアリング)の方法

初めてお使いになるときや、新しい機器と接続するときは以下の手順で行ってください。

1. イヤホンに充電ケースから取り出します。自動で電源が入り、効果音が流れます。
2. イヤホン同士が自動的に接続されます。片方のLEDランプが緑色と白色に点滅し、もう片方が消灯したら準備完了です。
3. 接続する機器(スマホなど)のBluetooth設定を「オン」にします。
4. 検索された一覧から「LR112」を選択してください。
5. 効果音が流れ、LEDランプが消灯したら接続完了です。

【2回目以降の接続】

イヤホンに充電ケースから取り出すだけで、最後に接続した機器へ自動的に接続されます。※機器によっては自動で接続されない場合があります。その場合は手動で再接続してください。

●うまく接続できない場合は、一度スマホのBluetooth設定をオフにし、最初から操作をやり直してください。

●Bluetoothの登録を解除する場合は、機器側の設定画面から接続解除や削除を選択してください。

●未接続のまま約5分間放置すると、自動的に電源がオフになります。

※接続状態のまま放置した場合は、自動的に電源はオフになりません。

使いかた

2台同時に接続する(マルチポイント)

2台の機器(スマートフォンやパソコンなど)を同時に接続状態にできます。ペアリングをやり直すことなく、使う機器を切り替えられます。

1. ペアリングの手順に従って、1台目の機器を接続します。
2. 接続ができたら、1台目の機器のBluetoothを「オフ」にします。
3. 再びペアリングの手順に従い、2台目の機器を接続します。
4. 2台目の接続が終わったら、1台目の機器のBluetoothを「オン」に戻し、一覧から本商品を選択して再接続します。
5. これで2台の機器が同時に接続された状態になります。

【電話の着信について】

2台のスマートフォンを接続している場合は、どちらのスマートフォンに着信があっても、そのままイヤホンで応答できます。

- 音楽プレーヤーやパソコンを接続している場合、機器を切り替えた際に接続が切れることがあります。

※2台同時に音楽を流すことはできません。

リセットする方法(初期化)

接続がうまくいかない場合や、設定を初期状態に戻したいときは、以下の手順を行ってください。

1. 接続している機器(スマホなど)のBluetooth設定画面から、本商品の登録を削除し、Bluetoothを「オフ」にします。
 2. 両方のタッチセンサーを5回タップします。
 3. 白色と緑色のLEDランプが交互に3回点滅したらリセット完了です。
 - イヤホンから効果音が流れます。
 4. イヤホンを一度充電ケースに戻します。
 5. 再度イヤホンを取り出し、最初の「Bluetooth接続(ペアリング)の方法」の手順に従って接続をやり直してください。
- リセット完了後は、再度ペアリング(登録)作業が必要になります。
※接続した状態のままでもリセット機能が働く場合があります。操作には十分ご注意ください。

音楽や動画を再生する

再生中に、どちらかのタッチセンサーを1回タップすると、一時停止します。

- 一時停止中に同じ操作をすると、再び再生されます。

次の曲・前の曲へ移動する

【曲送り(次の曲へ)】

再生中に、R(右)のタッチセンサーを2回タップすると、次の曲へ進みます。

【曲戻し(前の曲へ)】

再生中に、L(左)のタッチセンサーを2回タップすると、前の曲(または曲の冒頭)に戻ります。

- 動画アプリなどで使用する場合も、同様の操作で次の動画への移動などが可能です。

使いかた

通話のしかた

【電話に出る】着信中に、どちらかのタッチセンサーを2回タップします。

【電話を切る】通話中に、どちらかのタッチセンサーを2回タップします。

【着信を拒否する】着信中に、どちらかのタッチセンサーを約2秒長押しします。

※LINEなどのデータ通信アプリを使用した電話では、これらの操作ができない場合があります。

音声アシスタントを使う

スマートフォンの音声アシスタント(SiriやGoogleアシスタントなど)を起動して、声で操作ができます。

1. どちらかのタッチセンサーを3回タップします。

2. 音声アシスタントが立ち上がったら、話しかけてください。

3. 終了する場合は、もう一度どちらかのタッチセンサーを3回タップします。

●接続した機器によっては、イヤホン側から終了(オフ)できない場合があります。その場合はスマートフォン側で操作してください。

※あらかじめ、スマートフォン側の音声アシスタント設定を「オン」にしておいてください。

低遅延モード(ゲームモード)を使う

動画視聴やゲームの際に発生する「映像と音のズレ」を少なくする機能です。

1. どちらかのタッチセンサーを約2秒長押しします。

2. 音声案内(「ゲーミングモード」など)が流れたら、低遅延モードに切り替わります。

3. もう一度同じ操作をすると、音声案内(「ミュージックモード」など)が流れ、通常モードに戻ります。

●本機能をオンにすると、通信距離が短くなったり、音が途切れやすくなったりする場合があります。音楽を聴くときはオフ(通常モード)にすることをおすすめします。

※すべての機器において、音のズレが完全になくなることを保証するものではありません。

その他

Bluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、効果音が聞こえます。

5分以内に範囲内に戻ると効果音が聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。

スマートフォンの音楽再生をタップするかどうかのタッチセンサーを1回タップすると再生が再スタートします。

●イヤホンでの各操作は全ての接続機種での操作を保証するものではありません。

ご使用の機種・アプリによっては操作ができない場合がございます。予めご了承ください。

Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入切れることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声が入ずれ場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。
- 本商品のプラグやポートにホコリなどがたまらないように定期的にお手入れしてください。ホコリがたまるとショートして発煙、発熱の原因になるおそれがあります。

防水性能について

イヤホン本体

本商品のイヤホン本体は、防水規格IPX4相当の仕様となっています。
いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けません。
防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本商品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨していません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本商品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(R4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンにする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(R8「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本商品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本商品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。
ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。
また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

商品仕様

商品向上のため、仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	イヤーフック型
	イヤホン本体質量(片耳)	約10.7g
	使用温度範囲／湿度範囲	5～40℃ 20～80%(ただし結露なきこと)
イヤホン部	ドライバー型式	ダイナミック型
	ドライバーサイズ	φ10mm / 11 × 18mm
	音圧感度	112dB
	インピーダンス	16Ω / 32Ω
	再生周波数帯域	20Hz～20kHz
	防水規格	IPX4
マイクロホン部	マイク感度	-38dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.6.0
	対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離／送信出力	約10m/Class2
イヤホン部 (その他)	イヤホン本体バッテリー量(片耳)	70mAh
	連続音楽再生時間(※1)	約7時間
	連続通話時間(※1)	約6時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	イヤホン本体充電時間	充電ケースでの充電:約2時間 ※充電ケースが満充電の状態で、最大2回まで充電可能
	充電ケース充電時間	約2時間
	充電ケース内蔵バッテリー量	600mAh
	充電ケースサイズ(W×D×H)	約88×68×29mm
	充電ケース質量	約54g
	充電ポート	Type-Cポート

商品仕様

機能一覧	低遅延モード(ゲームモード)	○
	ENC (Environmental Noise Cancellation)	○
	DNS (Deep Noise Suppression)	○
	音声アシスタント	○
	ハンズフリー通話	○
	マルチポイント機能	○
	自動ペアリング	○
	オート電源オン	○
	左右独立接続	○
付属品	Type-C充電ケーブル	約0.3m
	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヶ月

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出。

接続するBluetooth機器との距離が長い場合等、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

リチウム電池のリサイクルについて



Li-ion

この商品にはリチウムイオン電池が使用されています。
不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

ゲオオリジナル商品
サポートセンター



0120-152-317

受付時間：AM10:00～PM6:00 年中無休
（年末12月30日～年始1月4日を除く）
株式会社ゲオ